

★ 提案 65 の賛成意見 ★

袋税のなれ合いの取引を停止してください。環境保護に役立ててください。

提案 65 は、スーパーマーケットが持ち帰り袋税から収集する資金を利益として保持するのを止めさせ、代わりに環境に役立たせるために必要です。

スーパーマーケットは、有権者が提案 65 に賛成票を投じなければ、毎年、それぞれ最高 3 億ドルの追加利益を得ることになります。

その資金は、スーパーマーケット企業チェーン店の利益を高めるのではなく、環境に専用すべきです。

提案 65 はスーパーマーケットのなれ合いの取引を停止させ、袋の資金を立派な環境的要因専用します。

SACRAMENTO のなれ合いの取引

生活のやりくりをするためによく働く California 州の買い物客が支払った、3 億ドルの袋税をスーパーマーケットに保持させる正常人がいるのでしょうか？

州議会です！

特別利益団体のロビイストがまとめたなれ合いの取引では、議会は袋税金を余分な利益としてスーパーマーケットに保持させるように投票しました。

買い物客が 3 億ドルより貧しくなっているのに、スーパーマーケットは 3 億ドルより豊かになっているのです。

ロビイストと議員には残念な思いです

大きなスーパーマーケット企業チェーン店と小売店は過去数年にわたり、議員たちに選挙献金を渡しました。そして、議員はすべての買い物客の裏で、新しい利益の 3 億ドルで彼らに見返りを渡したのです。

特別利益団体のなれ合いの取引を止めさせてください... 提案 65 に賛成票を投じてください。

環境保護に役立つより良い方法

有権者の皆さんも、これら袋の資金を環境を保護する実際の企画専用にするという、議員がすべきだったことを行ってください。

提案 65 は、袋の資金を干ばつ救済、ビーチ・クリーンアップ活動、ごみ掃除などの環境企画専用にします。

これらの資金を、California 州住民のためになるように、スーパーマーケットの幹部ではなく、野生生物保護委員会に管理させます。

環境を保護してください。なれ合いの取引と隠された袋税を止めさせてください。

提案 65 に賛成票を投じてください。

**THOMAS HUDSON**、エグゼクティブ・ディレクター  
California 納税者保護委員会

**DEBORAH HOWARD**、エグゼクティブ・ディレクター  
California 高齢者擁護連盟

★ 提案 65 の賛成意見に対する反論 ★

San Jose Mercury News は、提案 65 を「巧妙な戦略」と呼び、「提案 65 は、州の歴史の中で最も不誠実な投票法案のひとつとして考慮の価値がある」と付け加えています。

提案 65 の背後にいる州外のプラスチック製造業者は California 州の環境保護などに関心がありません。有権者を混同させたいのです。だまされないでください。

袋は無料ではなく、地方の食料雑貨店主は最大各 15 セントの負担をしています。州外のプラスチック袋業界人はいんちきです。州の無党派分析によると、提案 65 から入る総歳入は「ゼロ」から良くて 8,000 万ドルの範囲と推定しています。

注：有権者が提案 67 によるプラスチック袋の使用廃止を承認しない限り、提案 65 から入る環境の資金は「ゼロ」になることを忘れないでください。

しかし、提案 65 の背後にいるプラスチック製造業者

は、有権者が提案 67 に反対するように説得するために数百万を投じています。混同しましたか？それがプラスチック工業の計画です！

有権者の皆さんが野生生物の保護に関心があり、州外のプラスチック袋工業に対抗するのでしたら、本法案ではなく、提案 67 に賛成票を投じてください。

有権者の皆さんがプラスチック汚染やごみ、廃棄物の削減に関心があるのでしたら、本法案ではなく、提案 67 に賛成票を投じてください。

有権者の皆さんがプラスチックごみ掃除のための納税者の費用を削減することに関心があるのでしたら、本法案ではなく、提案 67 に賛成票を投じてください。

**MARK MURRAY**、エグゼクティブ・ディレクター  
無駄に反対する California 州民

★ 提案 65 の反対意見 ★

提案 65 の唯一の目的は有権者を混同させることです。提案 65 はたくさんの方のことを約束していますが、実際は、ごみを環境に流してしまいます。これは、California 州がプラスチック汚染を減らそうとする努力を妨害する、州外のプラスチック袋企業によって投票用紙に記載されました。

65 には真髓がなく、買い物用のプラスチック袋使用廃止という間近にある問題から注意をそらすためのものです。65 がすることは、紙袋（プラスチック袋禁止によるオプション）の売上資金を新しい州基金に移動させることです。この基金の資金はわずかの金額で、人々が再利用可能袋を持ってくるようになるにつれて縮小するものです。

実際の環境保護のために、提案 67 に賛成票を投じてください

California の環境に関する今回の選挙の優先事項は、提案 67 に賛成票を投じていただくことで、有害なプラスチック汚染を削減することです。無駄な買い物用プラスチック袋が公園、森林、近隣地域に入らないようにし、空間を大切にすることの取り組みは続きます。提案 65 は有権者の投票に値しないものです。もっと大切な問題に対して有権者の意見を述べ、California のプラスチック袋禁止を投票用紙で支持してください。

**MARK MURRAY**、エグゼクティブ・ディレクター  
無駄に反対する California 州民

★ 提案 65 の反対意見に対する反論 ★

提案 65 の対抗者は「真髓がない」として退けたいのです。

有権者が決めてください：スーパーマーケットが得る 3 億ドルの資金は重要ではありませんか？

提案 65 がなくて、California のプラスチック袋使用禁止が発効すれば、顧客が支払わなければならない 3 億ドルの一セントさえも、環境保護に役立ちません。

3 億ドルのすべてがスーパーマーケットの収益になります。毎年、3 億ドルです！

提案 65 に賛成票を投じて、なれ合いの景品が食料雑貨店主にいかないようにしてください。

特別利益団体がまとめたなれ合いの取引では、議会はプラスチック袋の禁止に投票し、食料雑貨店主が利益として袋の費用を保持するように義務付けました。

その「プラスチック袋禁止」では、各消費者がレジで与えられる袋あたり 10 セント以上を請求するように食料雑貨店主に義務付けました。

料金なしでプラスチック袋を禁止するか、あるいは料金を環境保護専用にするのができたはずですが、

そうはしませんでした。

代わりに、毎年、食料雑貨店を 3 億ドルより豊かにし、買い物客を 3 億ドルより貧しくしたのです。

環境保護に役立つより良い方法

有権者の皆さんも、これら袋の資金を環境を保護する企画専用にするという、議会がすべきだったことを行ってください。

提案 65 は、袋の料金を干ばつ救済、ビーチ・クリーンアップ活動、ごみ掃除などの環境企画専用に使います。

これらの資金を、食料雑貨店の幹部ではなく California、野生生物保護委員会に管理させます。

提案 65 は袋の料金を環境専用に使います。

それは簡単で、重要なことです。

私たちに協力いただき、賛成票を投じてください。

**THOMAS HUDSON**、エグゼクティブ・ディレクター  
California 納税者保護委員会

**DEBORAH HOWARD**、エグゼクティブ・ディレクター  
California 高齢者擁護連盟